

目次

最新情報.....	1
新機能.....	1
V1.30の追加.....	1
V1.20の追加.....	1
V1.10の追加.....	1
メンテナンス項目.....	2
V1.30の修正.....	2
V1.20の修正.....	2
V1.10の修正.....	2
ファームウェアバージョンの確認.....	3
ファームウェアアップデート手順.....	3

最新情報

本機のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願いいたします。最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) にてご確認ください。

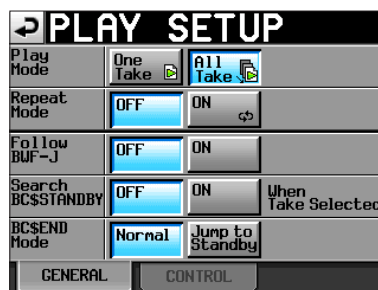
新機能

V1.30の追加

- テイク選択時にBC\$STANDBYに移動して一時停止する「Search BC\$STANDBY When Take Selected」機能を“PLAY SETUP”画面“GENERAL”タブ画面に追加しました。



テイクモード／プレイリストモード時



オンエアモード時

メモ

タイムラインモードでは、この設定は無効です。

- RS-232C / TELNET経由でのリビルドに対応しました。

V1.20の追加

- TASCAM HS Editorに対応しました。

V1.10の追加

- ユニバーサルリモートコントロールユニット『RC-900』に対応しました。

メンテナンス項目

V1.30の修正

- BC\$ENDとBC\$STOPのマークが同時刻に設定されていると、一方のBC\$マークの動作しか実施されなかった不具合を修正しました。なお、この場合、画面上には「BC\$STOPEND」というマーク名で表示します。
- ON AIRモードでON AIR ONの際、BC\$STANDBYマークが設定されているテイクでのロケート位置が、BC\$STANDBYマークポイントの時刻分後方にずれてしまう不具合を修正しました。
- プレイリストモードでStartポイントが変更されたエントリーに対して、RS-232C / TELNETから時間を指定した再生 / 再生待機を要求された際、再生 / 再生待機位置がStartポイント分後方にずれてしまう不具合を修正しました。
- FTPでファイル転送完了直後、STOP、PLAY、PAUSE操作が受け付けられないことがある不具合を修正しました。
- 再生開始直後にFTP転送を開始すると再生音が途切れる不具合を修正しました。
- FTPでテイクを追加 / 上書きした際、タイムカウンターが不正な表示となる不具合を修正しました。
- FTPでカレントセッション以外にテイクを追加した後にこのセッションをロードした際、リビルドしないと追加されたテイクが表示されず再生できない不具合を修正しました。
- RS-232C / TELNET経由でプロジェクト / セッションのロードを行う際、指定されたセッション番号がカレントセッション番号と同じだと、指定されたプロジェクト / セッションのロードを行わない不具合を修正しました。
- プレイリストモードにおいて、PAUSE状態で別のエントリーをFLASH START（ポン出し再生）した後にCALL操作を行うと、正しくない位置にCALLされてしまう不具合を修正しました。
- プレイリストモードの“**ADJUST**”画面において、BC\$STANDBYマークでPause後に再度再生を行うと、他のエントリーが再生される、またはPlay Errorとなる不具合を修正しました。
- “**BROWSE**”画面でカレントセッションにテイクを追加後、ON AIRモードでON AIR ONに切り換えると、再生範囲がBC\$STANDBYマークからBC\$ENDマークの間に制限されない不具合を修正しました。
- “**BROWSE**”画面で空のカレントセッションにテイクをコピーした後、ホーム画面にテイク名が表示されない不具合を修正しました。
- パラレル端子からPLAY信号とRECORD信号を同時に入力して録音を開始したとき、まれにタイムコードが出力されないことがある不具合を修正しました。
- “**LOCK SETUP**”画面の“**EXT.CTRL**”項目が“**LOCK**”に設定されていると、“**REMOTE**”項目が“**LOCK**”に設定されていても“**LOCK**”できない不具合を修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

V1.20の修正

- 動作の安定性を向上させました。

V1.10の修正

- プレイリストモードにおいて、“**ADJUST**”画面で“**Start Point**”を変更した後に再生すると再生エラーが発生することがある不具合を修正しました。
- タイムラインモードにおいて、同期エラーのマーク（UNLKxx）がWAVファイルに設定されない不具合を修正しました。
- 下記RS-232Cコマンドが動作しない不具合を修正しました。
 - Operation Mode
 - Media Remain Sense
 - Media Format
- “**REC SETUP**”画面“**REC MODE**”タブ画面の“**REC MODE**”設定が“**Mirror**”に設定された状態で下記設定を変更した際、変更前のこれらのiXMLデータが、カレントでないメディアのWAVファイルに記録される不具合を修正しました。
 - “**SYNC T/C**”画面“**SETUP**”タブ画面“**Frame Type**”設定
 - “**REC SETUP**”画面“**FILE FORMAT**”タブ画面“**Bit Length**”設定
 - “**NEXT TAKE NAME**”画面Take番号前のアルファベット
- OnAirモードにおいて、外付けキーボードや外部リモコンなどでRepeat Mode設定 / Play Mode設定を切り換えた際、ホーム画面情報欄の2つ先までのテイク名表示が更新されない不具合を修正しました。
- BC\$Standbyタリーの出力がONの状態ではテイクスキップした際、BC\$Standbyタリーの出力がOFFとなるように修正しました。
- 動作の安定性を向上させました。

ファームウェアバージョンの確認

ファームウェアアップデート作業前に、お手持ちの**HS-2000**のファームウェアバージョンを確認します。

1. 本体の電源を入れてください。
2. フロントパネルの**MENU**キーを押して、“**MENU**”画面を表示します。
3. “**VERSION INFO**”ボタンを押します。
ここで表示される“**SYSTEM VERSION**”（ファームウェアバージョン）を確認してください。ここで表示されるバージョンが、これからアップデートしようとしているバージョンと同じ、または新しい場合はアップデートの必要はありません。

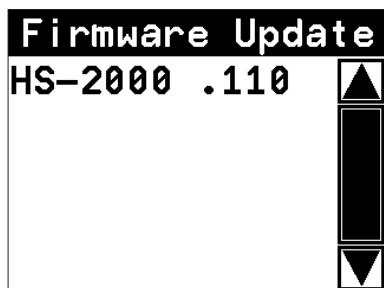
ファームウェアアップデート手順

1. TASCAMのウェブサイト（<https://tascam.jp/jp/>）より最新のファームウェアをダウンロードします。
2. ダウンロードしたファームウェアをパソコンでCFカードのルートフォルダーにコピーし、アップデート用カードを作成します。
3. コピーが正常に終了したことを確認し、パソコンからCFカードを正しい手順で取り出します。
4. 作成したアップデート用カードを本体フロントパネルのCFカードSLOT 1に挿入します。

注意

CFカードは、必ずCFカードSLOT 1だけに入れてください。CFカードSLOT 2では、アップデートはできません。

5. 本体の電源を一旦切った後、**PAUSE**キーと**REC**キーを同時に押しながら再度本体の電源を入れます。
本体がアップデートモードで起動し、画面にアップデート用ファイルが表示されます。



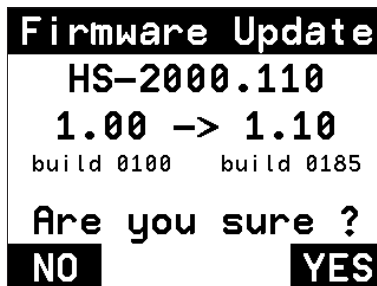
注意

上記の画面が表示されないときは、一旦電源を切り、**PAUSE**キーと**REC**キーを同時に押しながら再度電源を入れてください。

PAUSEキーと**REC**キーは、上記の画面が表示されるまでしっかり押し続けてください。

メモ

- 上記の画面には、本機のCFカードSLOT 1に挿入されたCFカードのルートフォルダー内にあるファームウェアアップデート用のファイルがリスト表示されます。上記の2.でコピーされたファームウェアも表示されます。
アップデート用のファイルが無い場合は、“**No Update File**”と表示されます。
 - 表示行はファームウェア最大5行です。表示最大行を超えるファイルがある場合には、画面右側のスクロールバーの“▲”／“▼”のボタンか**DATA**ダイヤルでリストをスクロールさせてください。
6. アップデートしたいファームウェア名を押してください。
以下の画面が表示されます。



左側に現在のバージョン、右側にアップデートするバージョンナンバーが表示されます。

メモ

画面は一例で、実際の表示とは異なります。

7. “**YES**”ボタンを押すと、アップデートを開始します。

注意

アップデート中、電源を切らないでください。

8. アップデートが終了すると画面下に“**Complete**”、“**PLEASE POWER OFF**”と表示されます。
電源を切り、再度電源を入れてください。
9. 「ファームウェアバージョンの確認」を参照して“**SYSTEM VERSION**”（ファームウェアバージョン）が最新のファームウェアとなっていることを確認してください。
以上で本機のアップデート作業は終了です。